



愛知県の家庭養護の現状

風の色 里親支援専門相談員 野村 利恵

1. はじめに

平成29（2017）年8月に「新しい社会的養育ビジョン」がとりまとめられ、現在、法務省では特別養子縁組制度の見直しなど民法改正に向けての検討が行われています。このようなことから、里親制度や特別養子縁組についてメディア等で取り上げられる機会が多くなっており、里親やファミリーホームについて興味を持つ方が増えているのではないのでしょうか。今後、今まで以上に施設養護から里親やファミリーホームにおける家庭養育が推進されていく流れの中、乳児院、児童養護施設の機能変換が求められると予想されます。

今回は、里親、ファミリーホームについて基本的な情報を記載すると共に、愛知県の現状についてお伝えします。



2. 里親について

親の病気や離婚、虐待などさまざまな事情により家庭で生活できなくなった子どもたちを、温かい愛情と家庭的な雰囲気の中で養育する。里親制度は子どものための制度。

【里親の種類】

● 養育里親

18歳まで（必要な場合は20歳まで）の子どもを、子どもが自立したり、生まれ育った家庭に戻ったりするまで、自分の家庭に受け入れて育てる里親。期間は子どもの事情によってさまざま。

● 養子縁組里親

原則6歳未満の子どもを、特別養子縁組（戸籍上も自分の子どもとして育てること）を前提として養育する里親。養子縁組が成立するまでは、里親として育てる。

● 親族里親

両親その他子どもを養育する方が死亡、行方不明等となった場合、その子どもの扶養義務者とその配偶者が里親となり育てる。

※1 里親の登録数と委託状況

区分	全体	内訳			
		養育里親	専門里親	親族里親	養子縁組によって養親となることを希望する里親
認定および登録里親数（世帯数）	382	375	26	1	228
新規登録（平成29年度）	36	35	1	0	27
児童が委託されている里親数（世帯数）	94	66	14	1	19
	新規委託（平成29年度中）	16	4	1	22
	委託解除（平成29年度中）	33	1	1	14



特集：愛知県の家庭養護の現状

● 専門里親

養育里親として3年以上の養育経験がある等の要件を満たす里親は専門里親になることができる。虐待等により心に傷を受けた子どもや、障害のある子ども、非行等の問題を抱えた子どもなどを、専門的な知識と技能を用いて育てる。

.....

【里親登録するには】

- 養育里親、養子縁組里親、専門里親は研修が必要。
- 養育里親、養子縁組里親は5年ごとの更新。専門里親は2年ごとの更新。
- 研修を受講し施設で実習後、県の社会福祉審議会の意見を聴きながら、知事が里親として適当と判断した人を里親に認定する。認定を受けると里親として登録される。

.....

【子育てにかかる費用】

子どもの年齢に応じて、生活費、教育費、医療費などが公費で支払われる（養子縁組里親については養子縁組成立まで）。

養育里親、専門里親には里親手当が支給される。

.....

【里親委託の現状について】

（以下数値については平成29年度末のもの）

- 里親希望者の数は増加傾向にある。愛知県（名古屋市を除く）では、382世帯が里親登録しており、うち、平成29年度に新規登録した里親は36世帯であった。また、里親に委託されている子どもは125人、里親委託率は14.2%（全国平均18.3%）であった。全国平均に比べて愛知県の里親委託率は低いが、特別養子縁組を組むことで委託解除となり、委託児として反映されなくなることが影響している。
- 愛知県では「愛知方式」と呼ばれる、特別養子縁組

を前提として新生児（生後4週間に満たない乳児）の里親委託を行っている。平成29年度の愛知県内（名古屋市を除く）での新生児委託は15件であった。

- 平成30（2018）年度は希望者が多く、昨年度よりも新規登録数が増える見込みとなっている。里親の多くが養子縁組を希望しており、養育里親希望者は少ない。

3. ファミリーホームについて

厚生労働省が定めた「小規模住居型児童養育事業」であり、平成20（2008）年の児童福祉法改正により、実施された。

養育者の住む家庭に5、6人の子どもの迎え入れる形態で養育を行う。里親と同様「家庭養護」に属する。子どもたち同士の相互交流を生かし、基本的な生活習慣を確立するとともに豊かな人間性及び社会性を育てることで、将来、自立する際に必要な知識も家庭生活を通じ、養うことができる。養育者は一人一人の子どもの発達や成長を見ながら、自主性を尊重しながら自立を支援している。

.....

【どのような人が開設できるのか】

- 養育里親として2年以上同時に2人以上の委託児童の養育の経験
- 養育里親として5年以上登録し、かつ、通算して5人以上の委託児童の養育の経験
- 児童福祉施設で3年以上の経験
- 都道府県知事が前項に挙げるものと同等以上の能力を有すると認めた人

.....

【ファミリーホームの現状について】

愛知県内には8つのファミリーホームがあり、定員48人となっている。

※2 小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）

事業所数	定数	前年度末在籍		入所		退所		年度末在籍	
		措置人数	その他	措置人数	その他	措置人数	その他	措置人数	その他
8	48	40	0	4	0	10	0	34	0



※3 里親に委託された児童

区 分	新規または措置変更により委託された児童数（年度中）			措置を解除または変更された児童数（年度中）										年度末現在委託児童数					
	児童福祉施設から委託	家庭から委託	その他	解 除											計				
				計	保護の必要がなくなり帰宅	普通養子縁組	特別養子縁組	満 年	逃 亡	死 亡	就 職	その他	計			児童福祉施設に入所	他の里親に委託	その他	
里親に委託されている児童	18	30	21	69	13	1	22	7	1	0	4	2	50	12	4	6	22	125	
(里親の種類別)	養育里親に委託されている児童	11	22	6	39	13	0	9	6	1	0	3	2	34	10	4	6	20	89
	専門里親に委託されている児童	1	3	2	6	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	17
	親族里親に委託されている児童	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	養子縁組によって養親となることを希望する里親に委託されている児童	6	5	12	23	0	1	13	0	0	0	0	0	14	1	0	0	1	18
	小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）	0	1	3	4	1	0	0	1	0	0	0	3	5	2	2	1	0	34

※4 年齢階級別委託児童数

区 分	年齢階級別委託児童数（年度末）						
	0歳	1～6歳	7～12歳	13～15歳	16歳以上	計	
里親に委託されている児童	男	10	19	18	13	14	74
	女	7	17	8	9	10	51
(里親の種類別)	養育里親に委託されている児童	4	28	22	16	19	89
	専門里親に委託されている児童	1	2	3	6	5	17
	親族里親に委託されている児童	0	0	1	0	0	1
	養子縁組によって養親となることを希望する里親に委託されている児童	12	6	0	0	0	18
	小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）						
	男	0	3	9	5	4	21
	女	0	5	5	2	1	13

4. 里親支援専門相談員について

「里親支援専門相談員について」

愛知県では、平成24（2012）年度から乳児院、児童養護施設に順次配置され、現在では10人（乳児院4人、児童養護施設6人）が配置されている。県内10児相すべての地域に配置されており、お互いに連携をとりながらそれぞれ担当地域を中心に里親支援を行っている。里親が気軽に悩みを話せるような関係づくりや、子育ての楽しさや難しさ、喜びなどを共有できる存在となることを目指している。

主な業務は、里親家庭への訪問及び電話相談、里親委託の推進、里親サロンの運営、里親への研修、里親会活動への参加勧奨及び活動支援、里親制度の啓発（里親の新規開拓）である。

里親支援専門相談員と里親は研修時から関係づくりをしており、その後もマッチング、委託後も継続して支援を行っている。里親の不安や悩みを早めに察知し丁寧に対応することで、支援の充実を図っている。